

令和3年度第1回古賀市子ども・子育て会議（書面開催） 結果報告

書面による審議依頼	令和3年8月27日（金）
回答期限	令和3年9月10日（金）
議 題	<ul style="list-style-type: none"> ・新規委員への委嘱書交付 ・各委員の紹介 ・会議について ・令和2年度第3回会議の結果報告について ・令和2年度古賀市子ども・子育て支援事業計画実施状況
会議参加者	森 保之委員、桑野 嘉津子委員、青木 扶美子委員、 山下 奈央委員、伊豆 剛直委員、薄 秀治委員、 園 久恵委員、松村 剛委員、角森 輝美委員、 下川 由貴子委員、梯 裕子委員、神谷 実枝委員、 末次 威生委員、浅尾 真紀子委員、西山 いづみ委員 以上 15名
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1 古賀市子ども・子育て会議 委員名簿 ・資料2 古賀市情報公開条例 ・資料2-1 古賀市子ども・子育て会議条例 ・資料3 令和2年度第3回古賀市子ども・子育て会議議事録 ・資料4 令和2年度古賀市子ども・子育て支援事業計画実施状況 ・委嘱書 ・意見書 ・質問書

令和3年度第1回古賀市子ども・子育て会議は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、書面会議による開催とし、結果は次のとおりです。

○審議事項

議題（3）会議について

「承認」と回答した委員数 15人

「否認」と回答した委員数 0人

審議の結果、賛成多数により承認されました。

ご意見等

- ・広く公開され、多くの方々へ周知されて子どもや子育てについて理解し支えて下さ

る方々が増えることを願います。

- ・回数が少ないのでZOOM等でも開催して頂きたい。又、以前にも提案しましたが、幼児の専門会議も開いていただきたい。
- ・今回は書面会議でしたが、今後はオンライン（ZOOM等）で行っていただきたい。

議題（４）令和２年度第３回会議の結果報告について

・児童虐待について、保育所入所が難しい場合の見守りはどのような対応やシステムがありますか。入所が難しい場合の支援についての質問はなかったのでしょうか。

（回答→要保護児童対策地域協議会において、関係機関と連携を図り、養育支援訪問等にて個別に見守りを行います。）

- ・幼稚園預かり保育の各園の定員はあるのでしょうか。

（回答→在園児の希望があれば、原則、預かり保育での受け入れを行っています。）

- ・前回の会議から約10か月が過ぎてしまい、記憶がかなり曖昧になってしまっています。議事録だけでももう少し早めに頂けると助かります。
- ・令和3年度もコロナ感染の影響は事業計画に見直しが必要と思われまます。
- ・保育士不足で定員に満たない園があるとわかったが、解消はされているのでしょうか。解消されれば基本指数（入所）の高い子どもたちが入所できないことはなくなるのに、と改めて思いました。

（回答→令和3年11月現在、定員に満たない保育所等は2園あります。）

その他

- ・新型コロナウイルス感染症の中いろいろと工夫して活動されていることに敬意です。一律にダメに乗っかりラッキーではいけないと思います。
対面を知らない親や子が増えていく中「対面」の必要性を感じています。ぜひ対面をつなぐ活動も活発になれるよう行政の知恵に期待します。
- ・議事についての会議以外に委員方で自由に意見交換できる場が欲しいと思っています。コロナ禍で様々なことが変化している中それぞれの立場でのお話を聞いてみたいのです。会議後参加できる方だけでも残って、ざっくばらんに話し合える場が作れないでしょうか。
- ・新型コロナウイルス感染症がなかなか収束しない中でも古賀市の子どものために最善を尽くすべく、各種事業等の対策を練っておられることがたびたび耳に入っております。皆様もどうかお身体を大切にされますように。
- ・幼保、幼保小、小中等それぞれ連携していくためその部門だけの会議も行って欲しい。
- ・子育てを支える地域づくりのために「地域総ぐるみ」の支援が充実していると思います。子育て中の親子が交流できる場や就学前の子どもへの体験活動の場や活動内

容が今後も充実されることが必要と思います。

- コロナの影響で実施できなかつたり、形を変えた事業などあったと思います。今後も対面→オンライン化など中止や延期ではなく、できる限り事業を止めずに継続して頂けるようお願い致します。
- 昨年もコロナ感染症のために会議回数が減りました。そのためもあり「子ども・子育て会議」の存在や重要性がいまいち理解できないでいます。条例の第7条にあるように緊急に開くこともできるのですが、このコロナ禍で緊急を要することはないのかとても心配です。安心を担保しながら会議はやった方がいいと思います。
- コロナ禍にあっても予防接種や子育て支援が中止にならずに行われていることはすごいことだと思います。「安全・安心メールシステム」もみなさん助かっているのではないのでしょうか。